

平成28年6月24日17時00分 発表

6月22～23日梅雨前線豪雨における竜門ダム^{りゅうもん}の効果について

◆竜門ダムの操作(ダム下流河川の増水を緩和させる操作)

6月22～23日の梅雨前線豪雨では、竜門ダムへ流れてくる水量の一部を竜門ダムへ貯め、下流の河川へ流す水量を最大で約5割低減させました。

◆竜門ダムの水位低減効果

この操作により、ダム下流の菊池市玉祥寺^{ぎょくしやうじ わいふ}の隈府水位観測所において、河川の水位を最大43cm低下(はん濫危険水位^{※1}をはん濫注意水位^{※2}まで引き下げ)させる効果がありました。

※1:河川がはん濫する恐れのある水位や安全に避難するために避難を開始すべき水位

※2:河川のはん濫の発生を注意する水位

※河川の水位や低下量などは速報値であり、今後変更になることもあります。

【問い合わせ先】

国土交通省 九州地方整備局 菊池川河川事務所

副所長 緒方

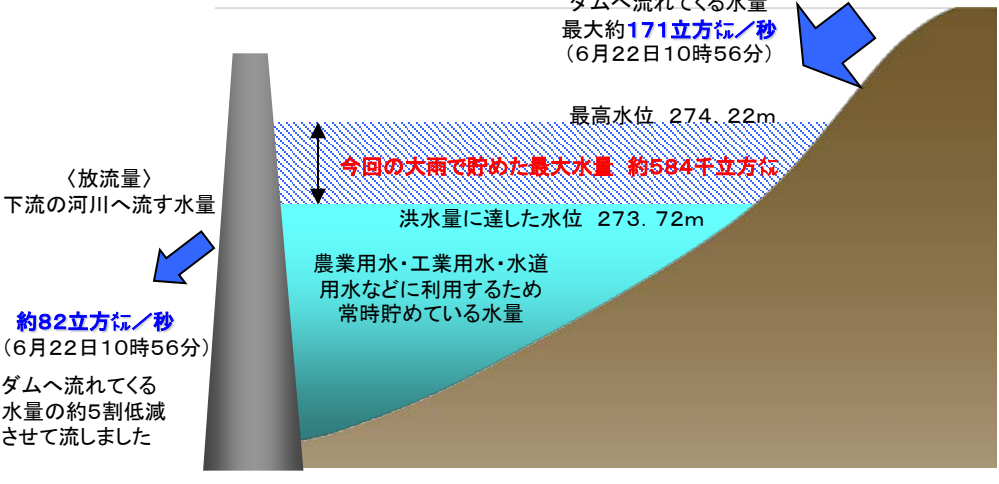
TEL 0968 (44) 2171

竜門ダム管理支所長 遠山

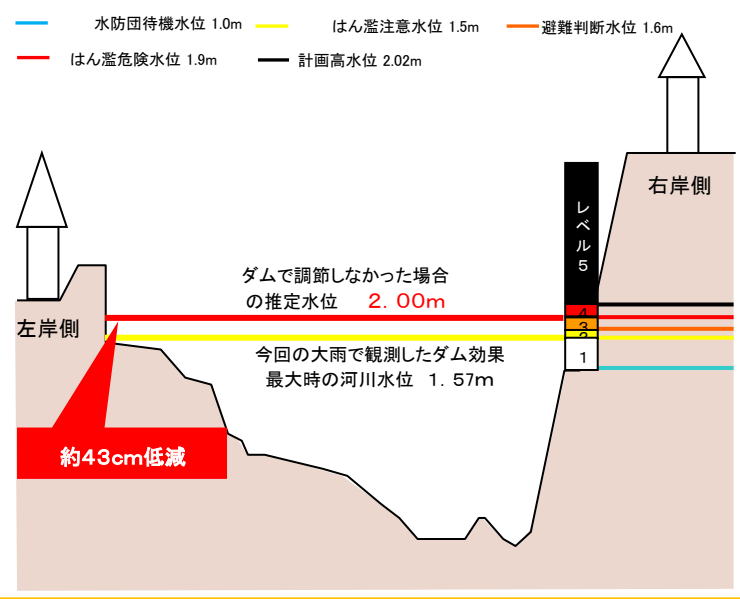
TEL 0968 (27) 1120

竜門ダムの効果(迫間川の水位低下)【H28. 6. 22~23梅雨前線豪雨】

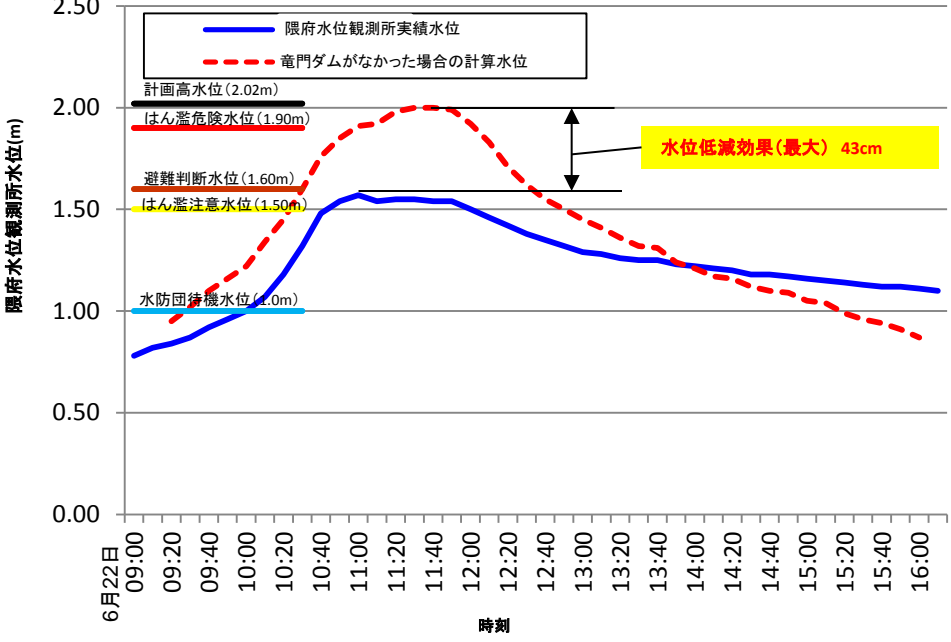
【竜門ダムの洪水操作】



【竜門ダムにおける水位低減効果(最大)】



【隈府水位観測所 観測水位】



【隈府水位観測所 状況写真】

